

第51回 千代田区民世論調査

<概要版>

令和7年2月

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、区民の意識や生活実態のほか、区政に対する意向や要望を把握するとともに、施策・事業の評価指標を得ることにより、今後の区政運営の参考とすることを目的とする。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域 千代田区全域
- (2) 調査対象 千代田区在住の満18歳以上の男女
- (3) 標本数 2,500
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から層化無作為抽出
- (5) 調査方法 [配布] 郵送配布
[回収] 郵送回収またはインターネット回答
- (6) 調査期間 令和6年9月24日～10月15日

3. 回収結果

標 本 数	有効回収数	有効回収率
2,500	1,003	40.1%

回 収 方 法	有効回収数	構 成 比
郵送回収	495	49.4%
インターネット回答	508	50.6%
合 計	1,003	100.0%

4. 回答者の属性

	基 数	構 成 比		基 数	構 成 比
18～29 歳	87	8.7%	60～64 歳	103	10.3%
30 歳 代	174	17.3%	65～69 歳	59	5.9%
40 歳 代	213	21.2%	70～74 歳	51	5.1%
50 歳 代	228	22.7%	75 歳 以上	68	6.8%
			無 回 答	20	2.0%
			合 計	1,003	100.0%

この概要版は、令和6年9月に実施した「第51回千代田区民世論調査」の結果を要約したものです。

5. 調査項目

今回の調査項目は次のとおりです。このうち、★印のある項目をこの概要版に掲載しました。
 なお、調査報告書の全文は、区のホームページ、区政情報コーナー（区役所2階）、各出張所、各図書館にてご覧いただけます。

調査回答者の属性 (1) 性別 (2) 年代 (3) 居住地区別 ★(4) 職業別……P 4 ★(5) 在学・在勤先別……P 4 (6) 世帯構成別 (7) 同居する子どもの人数別 (8) 同居する最年長の子どもの属性別 ★(9) 住居形態別……P 5 (10) 町会の加入状況別 (11) 国籍別 1. 区民の定住性 ★(1) 居住年数……P 6 ★(2) 定住意向……P 7 ★(2-1) 定住意向の理由……P 8 (2-2) 転出意向の理由 2. 居住環境評価 ★(1) 周辺の生活環境評価……P 9 ★(2) 周辺の居住環境の満足度……P 10 (2-1) 「周辺の生活環境評価」と「周辺の居住環境の満足度」の相関分析 3. 施策の満足度・重要度 ★(1) 施策の満足度・重要度……P 11-13 4. 区の施策への要望 ★(1) 力を入れてほしい施策……P 14 5. 区の施設への要望 ★(1) 整備・充実すべき施設……P 15 6. 広報活動 ★(1) 区政情報の取得媒体……P 16 (2) 新聞購読の有無 (3) 広報千代田の閲読の有無 (3-1) 広報千代田の閲読状況 (3-2) 広報千代田の閲読内容 (3-3) 広報千代田を読んでいない理由 7. 区政情報の把握 (1) 東京ケーブルネットワークの視聴環境の有無 (2) 区が制作した東京ケーブルネットワークの番組の視聴経験 (3) YouTubeの視聴環境の有無 ★(4) 区公式YouTubeチャンネルの視聴経験……P 17	8. 町会・ボランティア ★(1) 地域の活動（町会やボランティア活動など）への参加状況……P 17 (2) 町会・ボランティア活動で力を入れて欲しい分野 9. 食中毒予防などの食品衛生 (1) 飲食店での肉料理の生食 ★(2) 家庭での食中毒予防……P 18 10. 感染症、疾病予防対策 ★(1) 手洗いの方法……P 19 11. 自殺対策 ★(1) 千代田区自殺対策計画の認知度……P 20 (2) ストレス等の有無 (3) 悩みを相談できる人の有無 (3-1) 悩みを相談する相手 (3-2) 相談内容 (4) 睡眠時間 (5) 熟睡できないことの有無 (5-1) 眠れない日が続いた時の対応 (6) 自分の居場所がないと感じることの有無 (7) 悩みを相談する手段 (8) 「死にたい」と打ち明けられた時の対応 (9) 自殺を考えたことの有無 12. 地方との連携支援事業の区民認知度 ★(1) 連携支援事業の認知度……P 21 13. 男女平等、人権 ★(1) 性別による不平等を感じることもあるか……P 21 (2) 人権が尊重されている社会だと感じるか (3) 最も関心のある人権問題 (4) L G B T Qについて正しく理解したいと思うか (5) 同性のパートナーの権利について 14. 文化芸術 ★(1) 文化芸術イベントへの参加状況……P 22 (1-1) 参加していない理由 (2) 参加したい文化芸術イベント (2-1) 自由記述の共起ネットワーク
--	---

15. スポーツ実施率やスポーツへの興味・関心 ★（１）運動・スポーツを行う頻度……P23 （１－１）この１年間に運動・スポーツを行った場所 （１－２）この１年間に運動・スポーツをほとんど行わなかった理由 （２）地域での運動やスポーツ活動に期待する効果 （３）千代田区民体育大会の認知度 （３－１）千代田区民体育大会を知ったきっかけ 16. 自転車の交通安全 ★（１）自転車利用者のヘルメット着用の努力義務化についての認知度……P23 （２）自転車乗車時のヘルメットの着用状況 （２－１）ヘルメットを着用していない/持っていない理由 （３）自転車用ヘルメット購入補助事業の利用意向 （４）自転車事故の損害賠償保険等の義務化の認知度と加入状況 （４－１）加入している自転車事故の損害賠償保険等 17. 生物多様性 ★（１）生物多様性という言葉の認知度……P24 （２）生物多様性への関心の有無 （３）生物多様性の保全活動等への参加経験 （３－１）参加したことのある活動・場所等 （４）区内の生物多様性に関する情報の取得媒体 18. 2050 ゼロカーボンちよだに向けた取り組み ★（１）「2050 ゼロカーボンちよだ」の認知度……P24 （２）脱炭素社会への関心の有無 （３）環境保全イベントや活動への参加経験 （３－１）参加したことのある環境保全イベントや活動等 （４）区内の温暖化対策や脱炭素に関する情報の取得媒体	19. ウォークابلやエリアマネジメント団体の取り組み ★（１）ウォークابلという言葉とウォークابل事業の実証実験の認知度……P25 （２）公共空間で行われるイベントで期待するもの （３）地域とエリアマネジメント団体とが協力できる場への期待 （４）協働したいエリアマネジメント団体 20. 川に架かる橋およびその周辺の有効活用 （１）震災復興橋梁の認知度 ★（２）橋への期待……P25 （３）橋をライトアップすることの認知度 （３－１）橋のライトアップに関する知識 （４）橋の活用のために必要な取り組み 21. ポータルサイトの利用状況 ★（１）千代田区ポータルサイトの認知度……P26 （１－１）千代田区ポータルサイトを知ったきっかけ （１－２）千代田区ポータルサイトを利用したことがない理由 （２）登録すると区から必要な情報がポータル上で届くことの認知度 （３）千代田区ポータルサイトに欲しい機能 22. デジタル機器の活用状況 ★（１）デジタル機器の利活用への支援の必要性……P27 （２）デジタル機器利活用支援について望まれるあり方 23. 区民の防災対策 ★（１）地域の避難所の認知度……P27 （２）家具等の安全対策の実施状況 （３）自宅周辺の災害リスクの認知度 （４）災害時の避難方法 ★（５）災害に備えた備蓄状況……P28 （５－１）備蓄量 （６）災害発生時に知りたい情報 （７）災害時に情報を取得する媒体
--	--

6. 図表の見方

- （１）集計表の回答比率は小数第２位を四捨五入し、第１位までを表示している。従って合計が100.0%にならない場合がある。また、複数回答（選択肢からいくつでも選ぶ形式）の質問では回答比率が100.0%を超える場合がある。しかし、基数の合計値が100.0%となるため、複数回答で100.0%を超える場合でも構成比と集計表の%の合計を表記上100.0%としている。
- （２）本文図表のnは回答者数を表している。設問ごとに回答者数（n）を基数として比率を算出している。

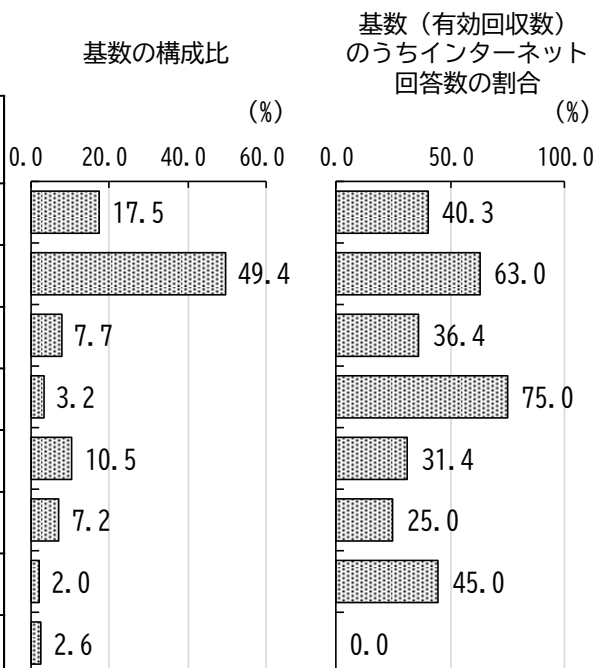
Ⅱ 調査結果

調査回答者の属性

職業別

	基数	構成比
自営業・事業主	176 (71)	17.5%
会社員、公務員、団体職員	495 (312)	49.4%
パート・臨時（派遣、非常勤等を含む）	77 (28)	7.7%
学生	32 (24)	3.2%
専業主婦（夫）	105 (33)	10.5%
無職	72 (18)	7.2%
その他	20 (9)	2.0%
無回答	26 (0)	2.6%
合計	1,003 (495)	100.0%

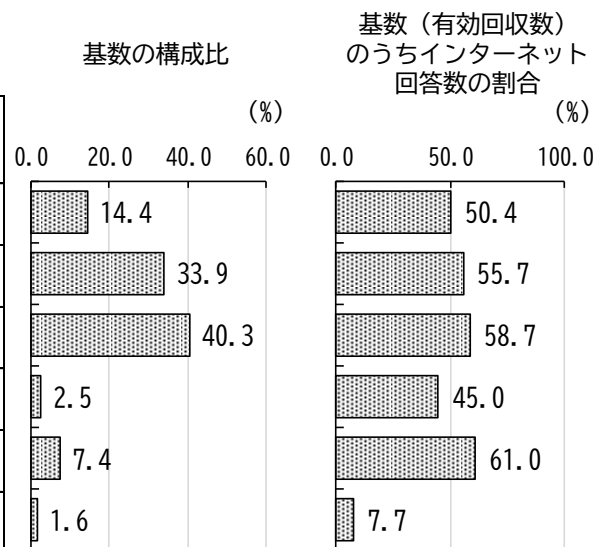
※下段（ ）内は、インターネット回答数内数



在学・在勤先別

	基数	構成比
自宅と同じ（テレワーク・オンライン授業も含む）	115 (58)	14.4%
千代田区内	271 (151)	33.9%
東京23区内（千代田区を除く）	322 (189)	40.3%
東京23区外の東京都内（市・町・村）	20 (9)	2.5%
東京都外（道府県）	59 (36)	7.4%
無回答	13 (1)	1.6%
合計	800 (444)	100.0%

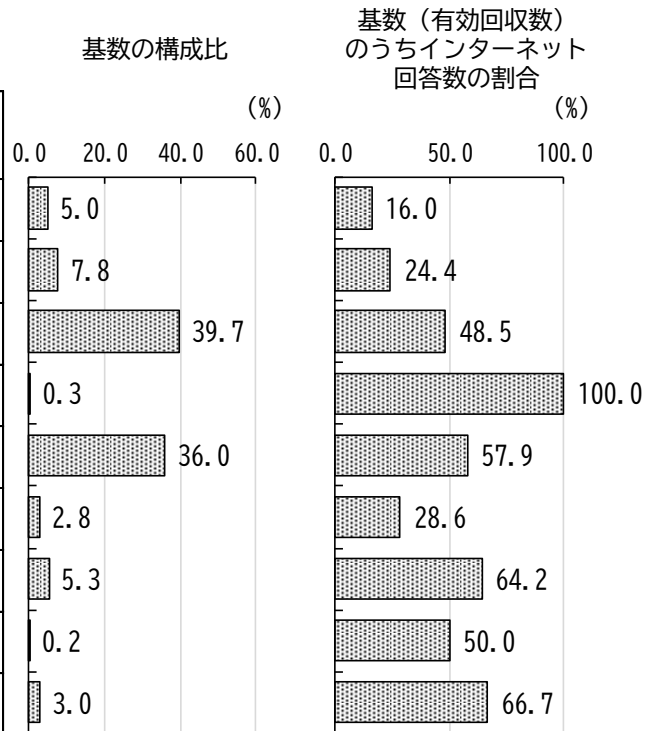
※下段（ ）内は、インターネット回答数内数



住居形態別

	基数	構成比
一戸建ての持ち家	50 (8)	5.0%
ビル内の自宅（ビルの所有者）	78 (19)	7.8%
分譲マンションなど	398 (193)	39.7%
一戸建ての借家	3 (3)	0.3%
賃貸マンション・民間アパートなど	361 (209)	36.0%
都市再生機構（旧公団）・公社・都営・区営などの公共住宅	28 (8)	2.8%
公務員宿舎・社宅・寮などの給与住宅	53 (34)	5.3%
その他	2 (1)	0.2%
無回答	30 (20)	3.0%
合計	1,003 (495)	100.0%

※下段（ ）内は、インターネット回答数内数

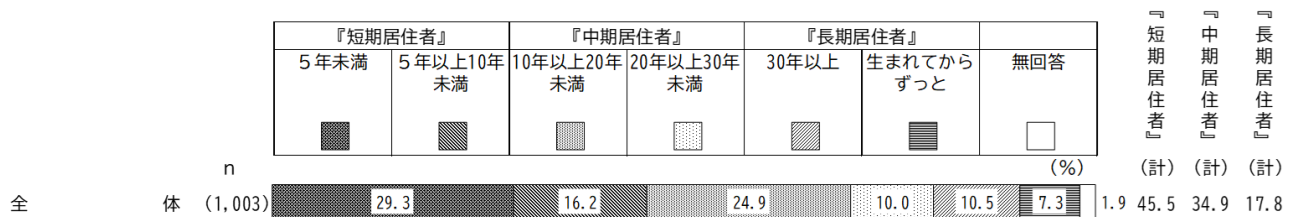


1. 区民の定住性

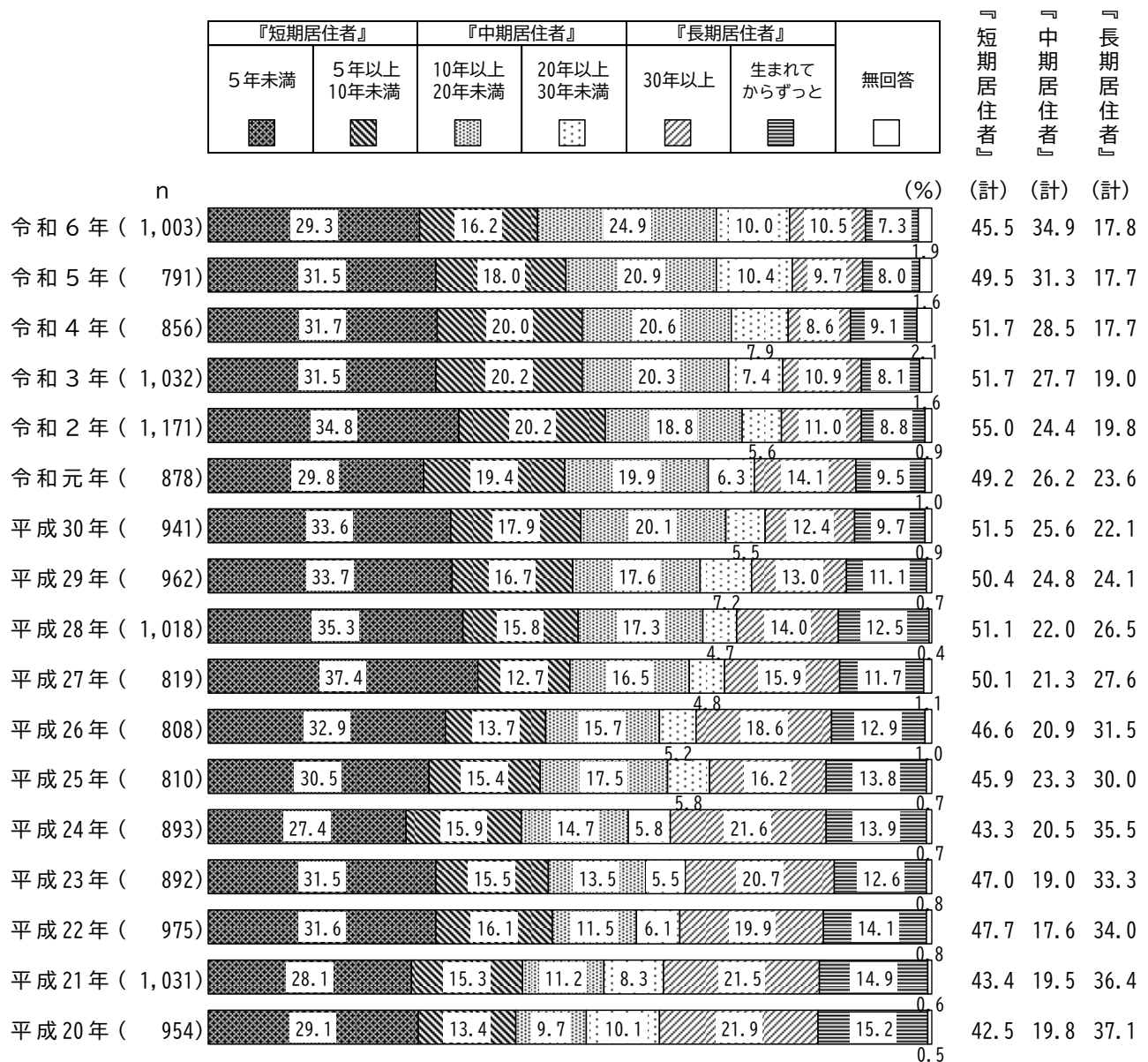
居住年数

「5年未満」(29.3%)が3割弱と最も高く、これに「5年以上10年未満」(16.2%)を合わせた『短期居住者』(45.5%)は4割台半ばとなっている。次いで「10年以上20年未満」(24.9%)が2割台半ば近くと高くなっている。また、「30年以上」(10.5%)と「生まれてからずっと」(7.3%)を合わせた『長期居住者』(17.8%)は1割台半ばを超えている。

● あなたは、千代田区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)



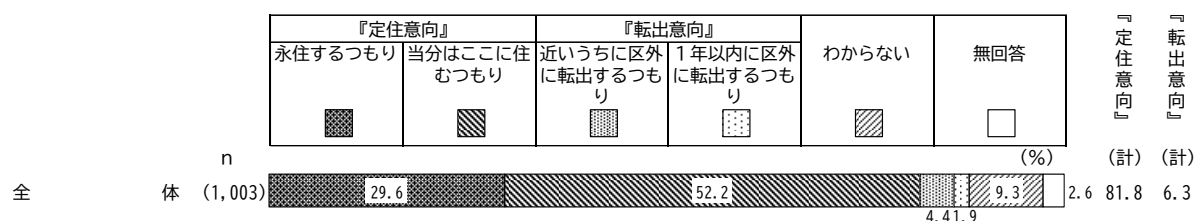
経年比較にみると、『中期居住者』は令和2年度から増加傾向がみられる。



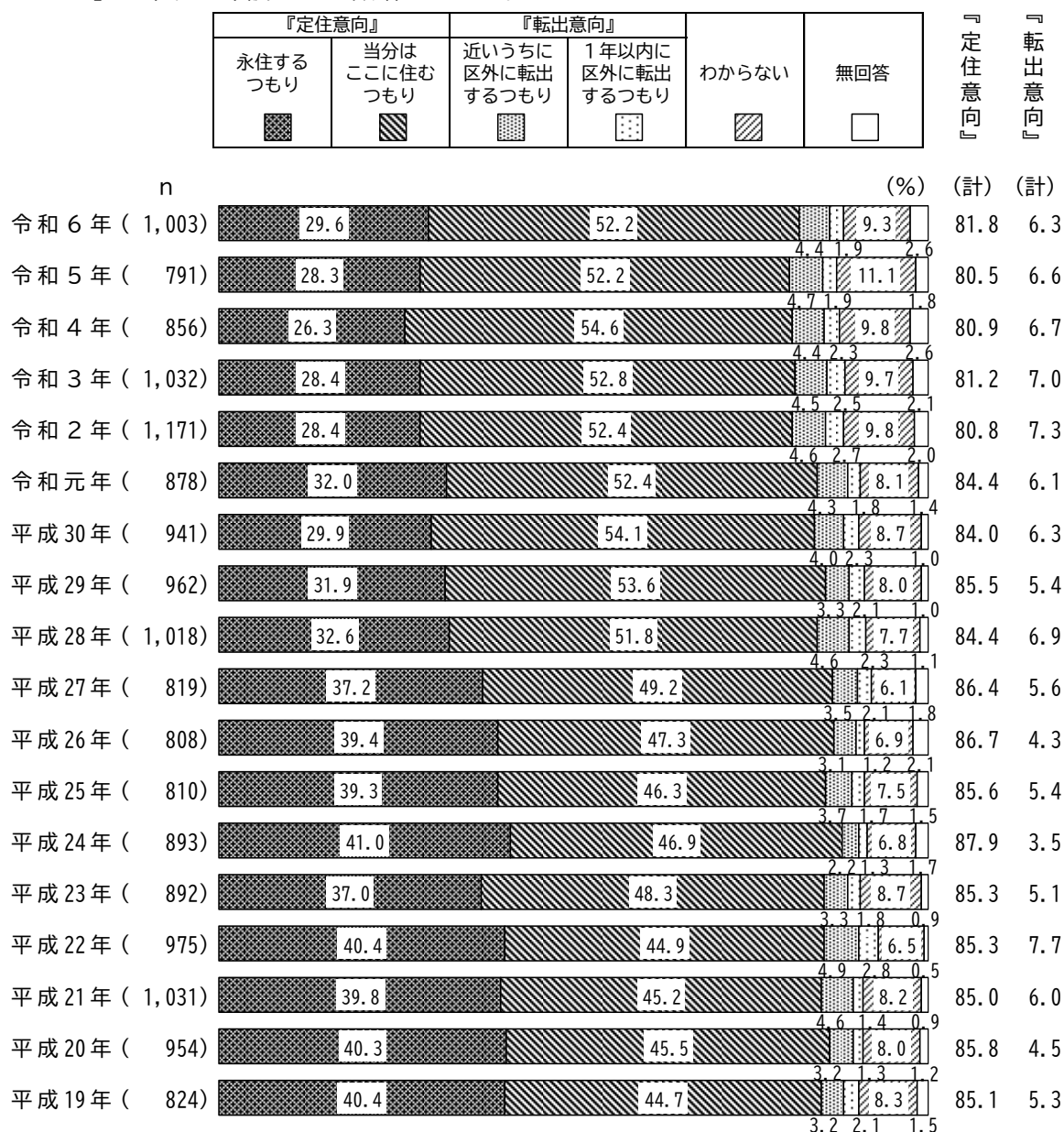
定住意向

「当分はここに住むつもり」(52.2%)が5割強と最も高く、これに「永住するつもり」(29.6%)を合わせた『定住意向』(81.8%)は8割強となっている。一方で、「近いうちに区外に転出するつもり」(4.4%)と「1年以内に区外に転出するつもり」(1.9%)を合わせた『転出意向』(6.3%)は1割未満となっている。

● あなたは、これからも千代田区にお住まいになりますか。(○は1つ)



経年比較にみると、平成19年以降「当分はここに住むつもり」が最も高い割合となっている。「永住するつもり」は令和6年調査では微増している。

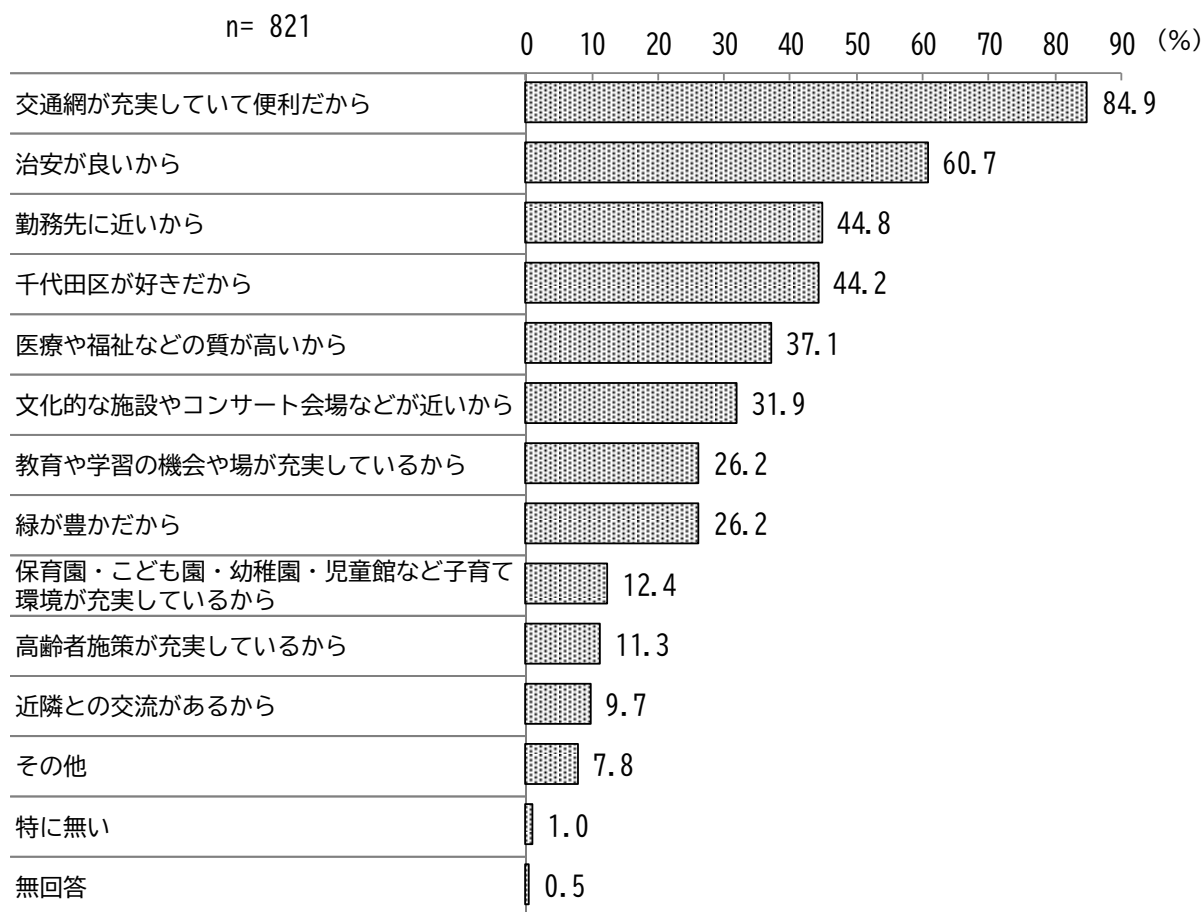


定住意向の理由

「交通網が充実していて便利だから」(84.9%)が8割台半ば近くと最も高く、次いで「治安が良いから」(60.7%)が約6割、「勤務先に近いから」(44.8%)が4割台半ば近く、「千代田区が好きだから」(44.2%)が4割台半ば近く、「医療や福祉などの質が高いから」(37.1%)が3割台半ばを超え、「文化的な施設やコンサート会場などが近いから」(31.9%)が3割強となっている。

(「永住するつもり」か「当分はここに住むつもり」とお答えの方に)

● あなたが、そう思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

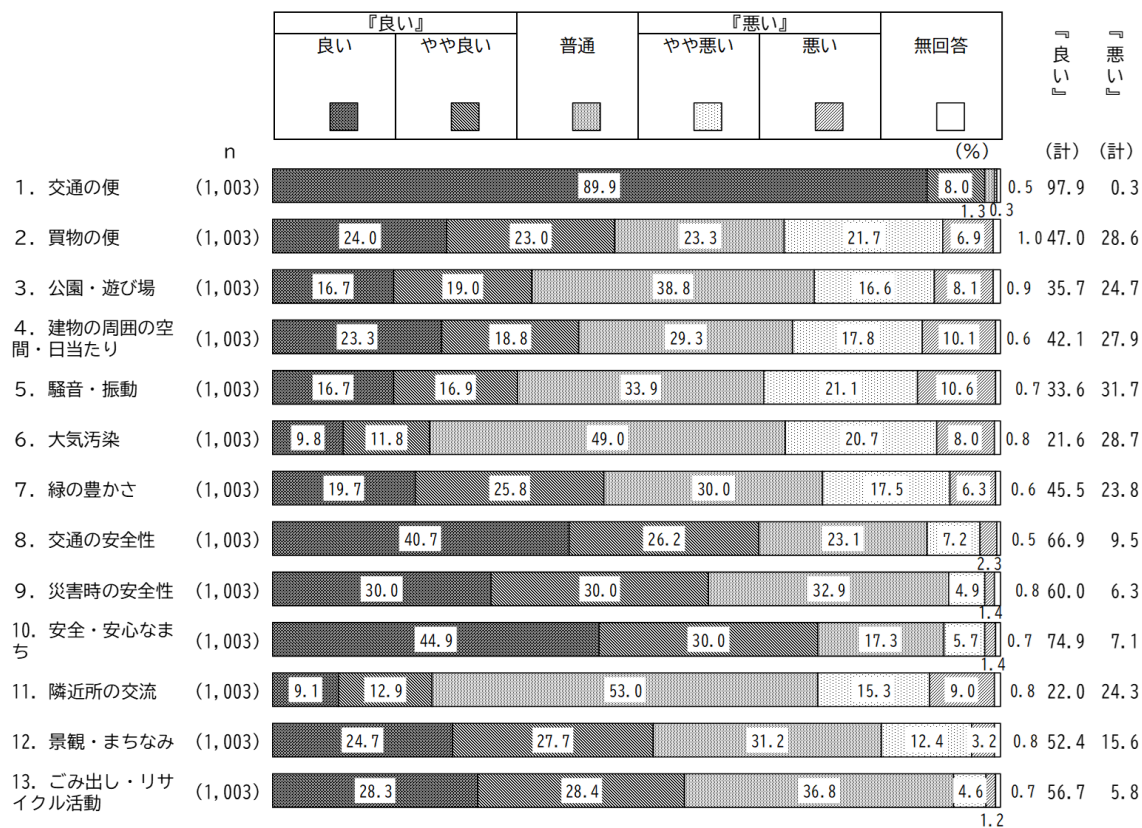


2. 居住環境評価

周辺の生活環境評価

『良い』が最も多い項目は“交通の便”(97.9%)が9割台半ば超え、『悪い』は“騒音・振動”(31.7%)が3割強となっている。

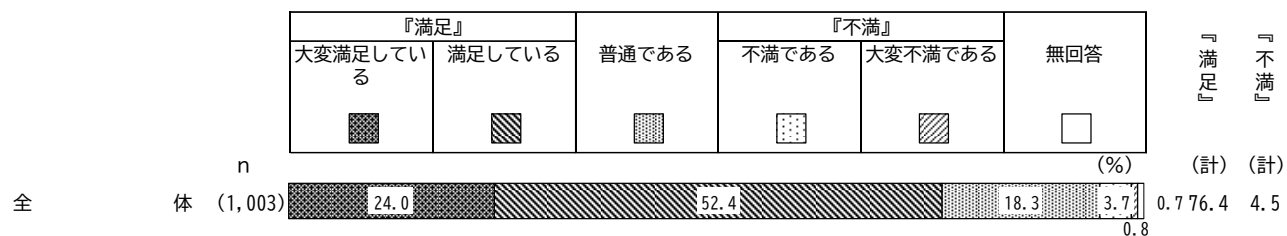
- あなたは、ご自宅の周辺の生活環境についてどう思いますか。各項目ごとに5段階で評価してください。(○はそれぞれに1つ)



周辺の居住環境の満足度

「満足している」(52.4%)が5割強と最も高く、これに「大変満足している」(24.0%)を合わせた『満足』(76.4%)が7割台半ばを超えとなっている。一方で、「不満である」(3.7%)と「大変不満である」(0.8%)を合わせた『不満』(4.5%)が1割未満となっている。

- あなたのお住まいやその居住環境について、当てはまるものを選んでください。
(○は1つ)



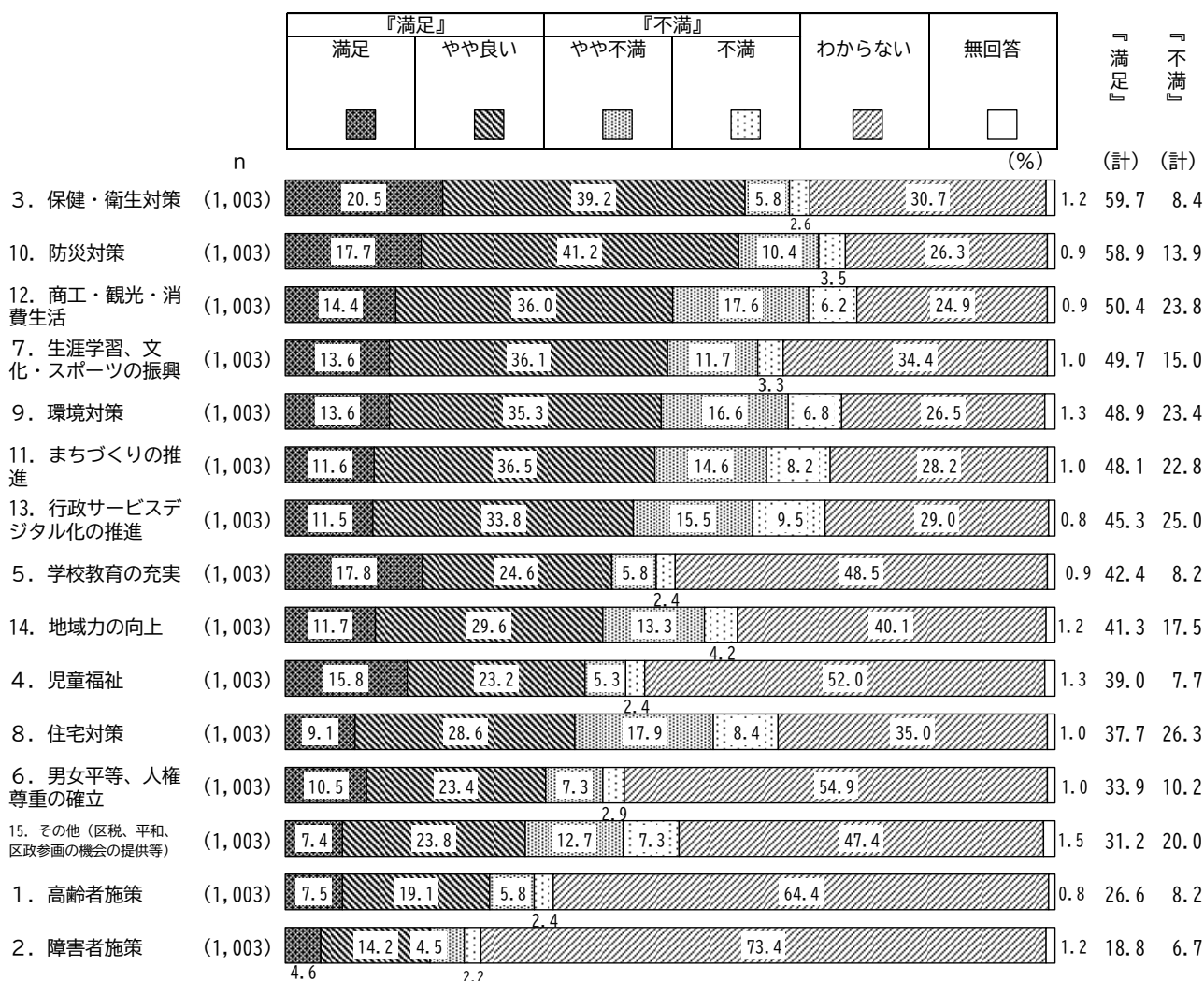
3. 施策の満足度・重要度

施策の満足度・重要度

◎ 満足度

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は“保健・衛生対策”（59.7%）が6割弱と最も高くなっている。一方で、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は“住宅対策”（26.3%）が2割台半ば超えと最も高くなっている。

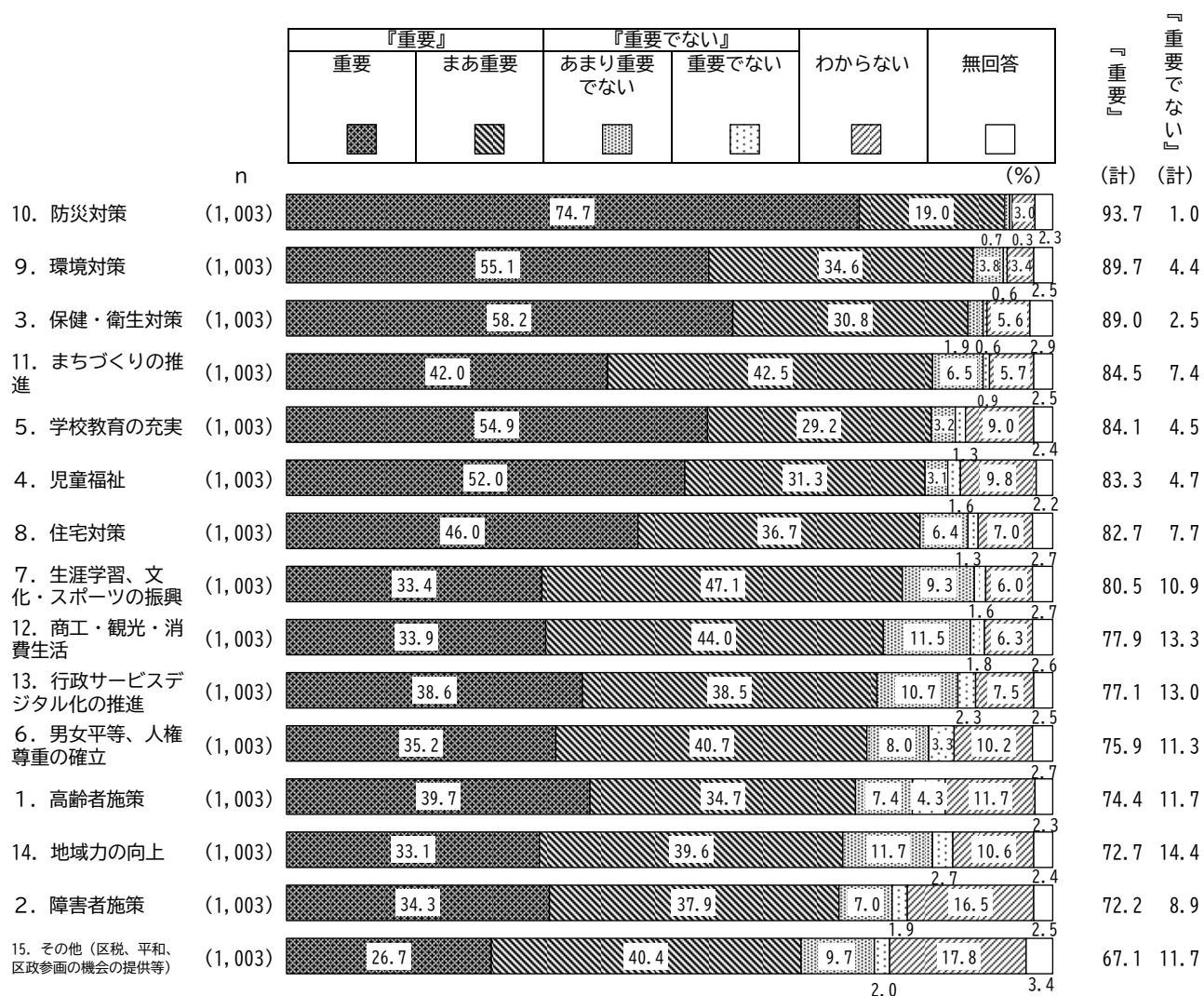
- あなたは、区政のそれぞれの分野についてどれくらい満足していますか。また、どのくらい重要(大切)だと思いますか。項目ごとに5段階で評価し、該当する番号に○を付けてください。（15分野すべてにご回答ください。）



◎ 重要度

「重要」と「まあ重要」を合わせた『重要』は“防災対策”(93.7%)が9割台半ば近くと最も高くなっている。一方で、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた『重要でない』は“地域力の向上”(14.4%)、“商工・観光・消費生活”(13.3%)が1割台半ば近くと高くなっている。

- あなたは、区政のそれぞれの分野についてどれくらい満足していますか。また、どのくらい重要(大切)だと思いますか。項目ごとに5段階で評価し、該当する番号に○を付けてください。(15分野すべてにご回答ください。)



【施策の満足度と重要度の相関】

次の図は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。

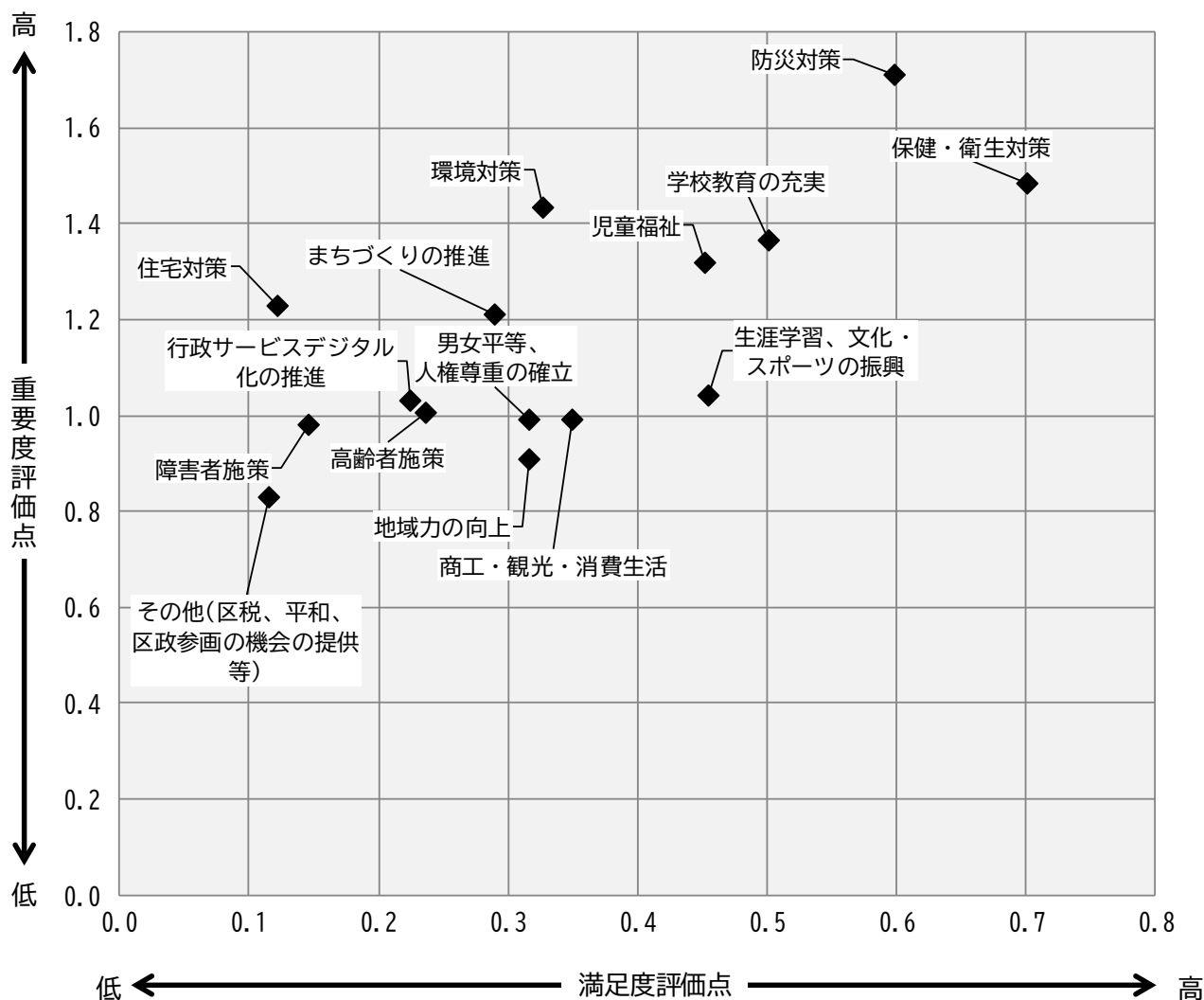
下記の計算式のように、5段階の各評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出した。「わからない」については0点として扱った。

$$\text{満足度評価点} = \frac{\text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 1 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times -1 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times -2 \text{点}}{\text{回答者数}}$$

$$\text{重要度評価点} = \frac{\text{「重要」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「やや重要」の回答者数} \times 1 \text{点} + \text{「あまり重要でない」の回答者数} \times -1 \text{点} + \text{「重要でない」の回答者数} \times -2 \text{点}}{\text{回答者数}}$$

注) 回答者数は、無回答を除く。

右に位置するほど満足度が高く、上に位置するほど重要度が高いと言える。満足度評価点が低く、重要度評価点が高い領域（左上方）にある項目が、住民ニーズの高いものと考えられる。

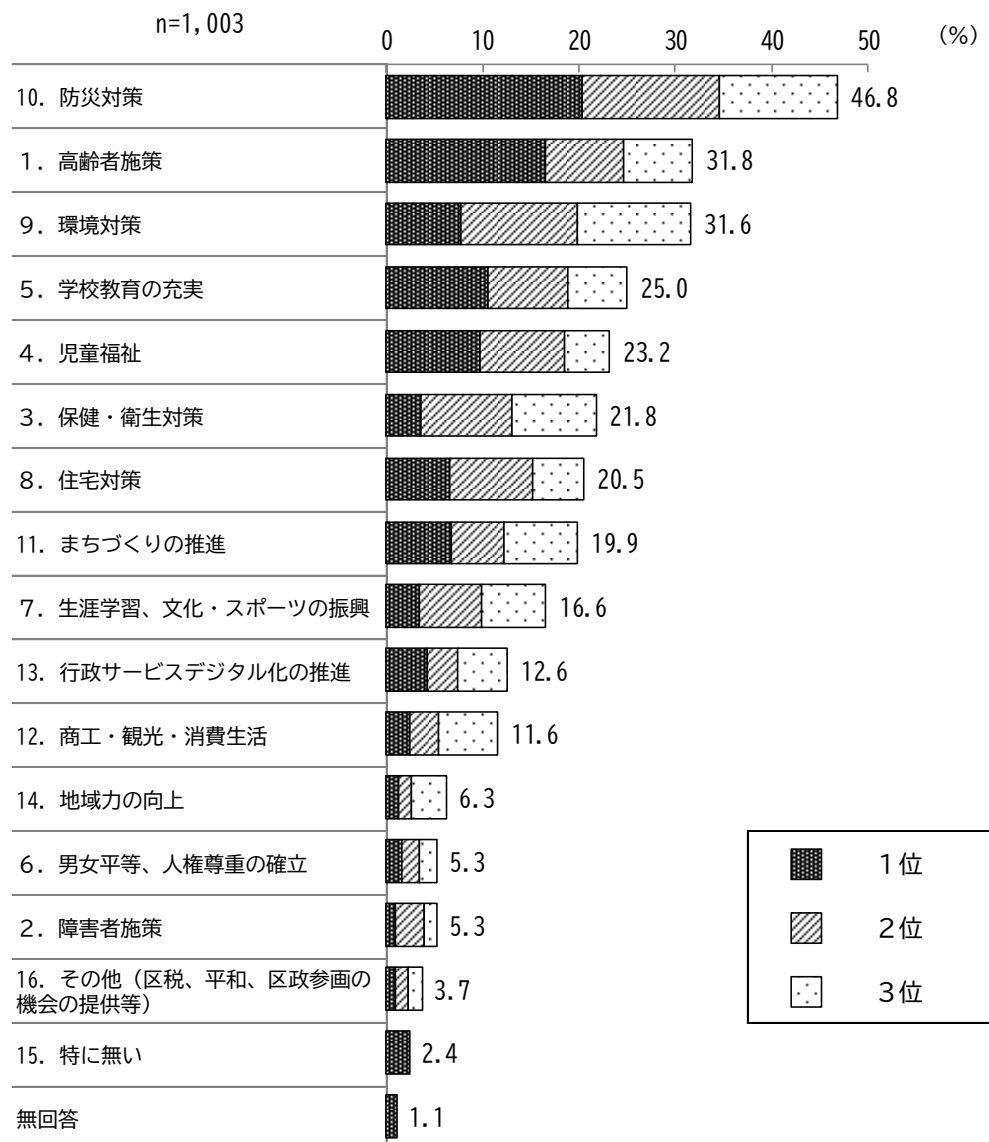


4. 区の施策への要望

力を入れてほしい施策

「防災対策」(46.8%)が4割台半ばを超えと最も高く、次いで「高齢者施策」(31.8%)、「環境対策」(31.6%)、「学校教育の充実」(25.0%)と続いている。

- これからの区政全体について、あなたは、どの分野に力を入れてもらいたいと思いますか。特に力を入れて取り組んでほしい分野について、下記1～16の中から優先順位の高い順に3つ選んで番号を記入してください。

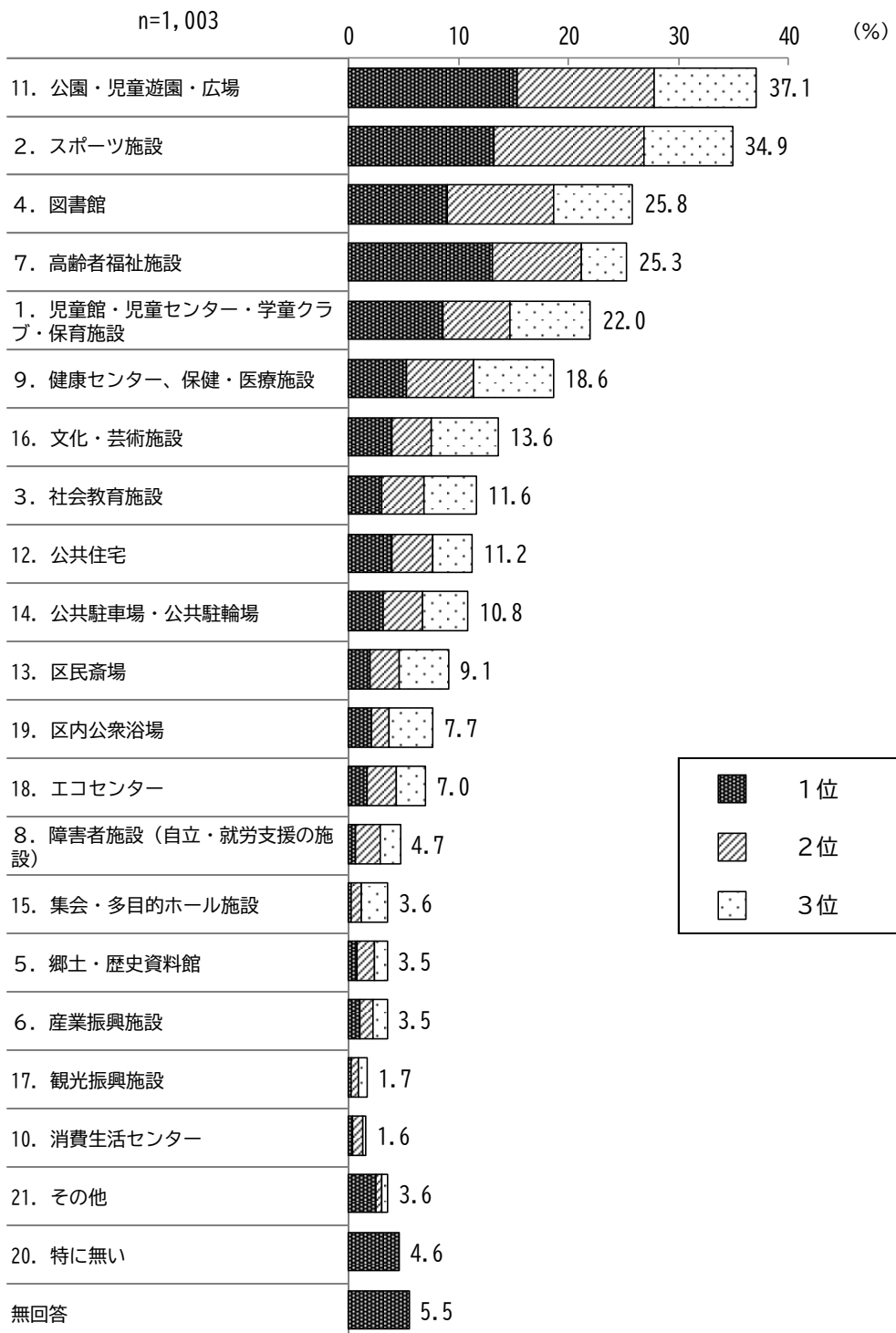


5. 区の施設への要望

整備・充実すべき施設

「公園・児童遊園・広場」(37.1%)が3割台半ばを超えと最も高く、次いで「スポーツ施設」(34.9%)、「図書館」(25.8%)、「高齢者福祉施設」(25.3%)、「児童館・児童センター・学童クラブ・保育施設」(22.0%)と続いている

- あなたは、区内にどのような施設を整備・充実すべきだと思いますか。下記1～21の施設から優先順位の高い順に3つを選んで番号を記入してください。ただし、「20. 特に無い」を選んだ方は1位の欄に記入してください。

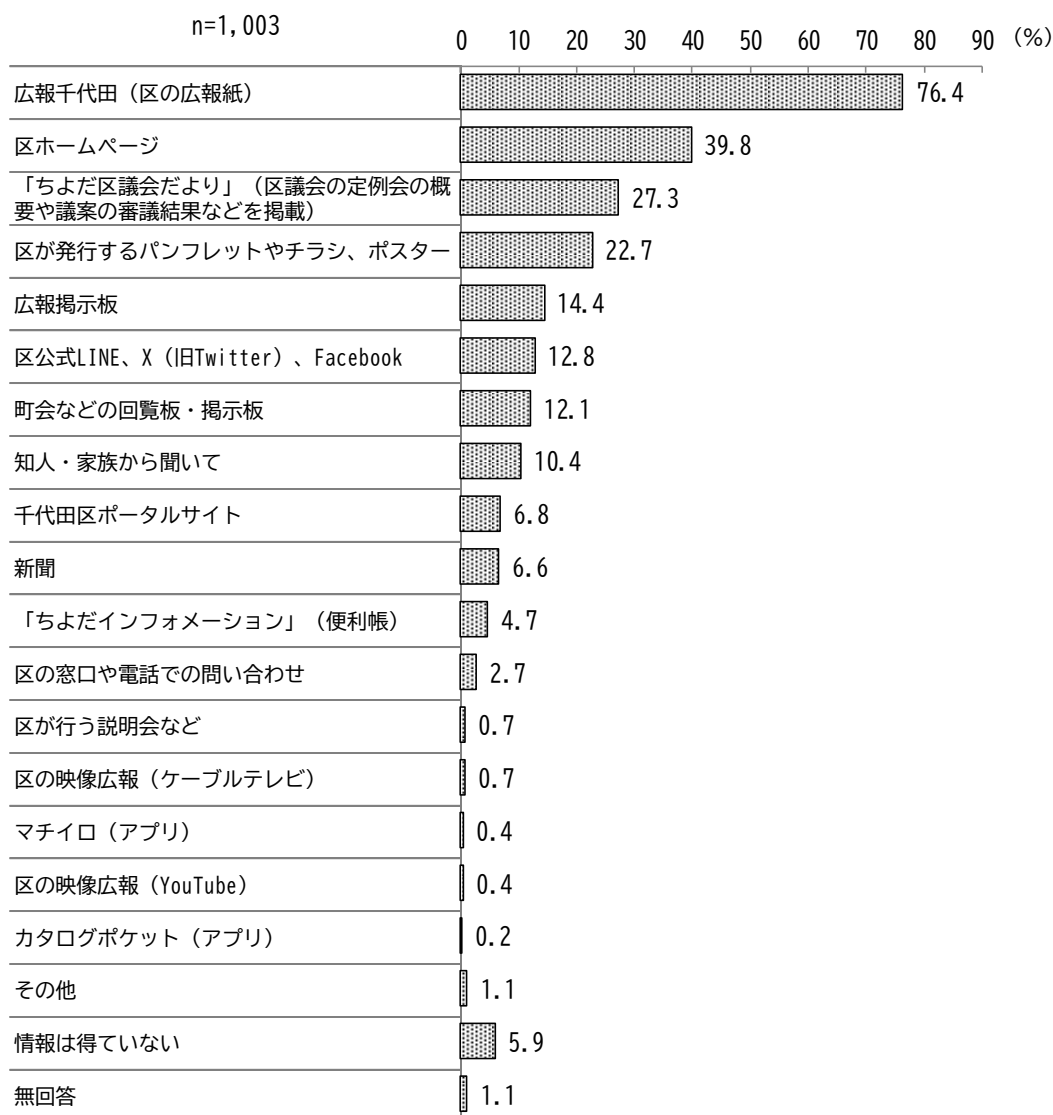


6. 広報活動

区政情報の取得媒体

「広報千代田（区の広報紙）」（76.4%）が7割台半ばを超えと最も高く、次いで「区ホームページ」（39.8%）が4割弱、「ちよだ区議会だより」（区議会の定例会の概要や議案の審議結果などを掲載）（27.3%）が2割台半ばを超え、「区が発行するパンフレットやチラシ、ポスター」（22.7%）が2割強と高くなっている。

- あなたは区に関する情報をどこから得ていますか。次の中から当てはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

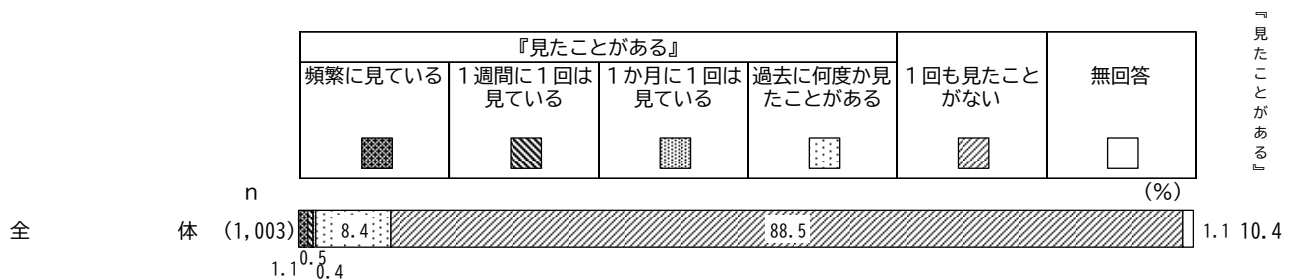


7. 区政情報の把握

区公式YouTubeチャンネルの視聴経験

「1回も見たことがない」(88.5%)が9割近くと最も高くなっている。

- あなたはこれまで、区公式YouTubeチャンネルを見たことがありますか。(○は1つ)

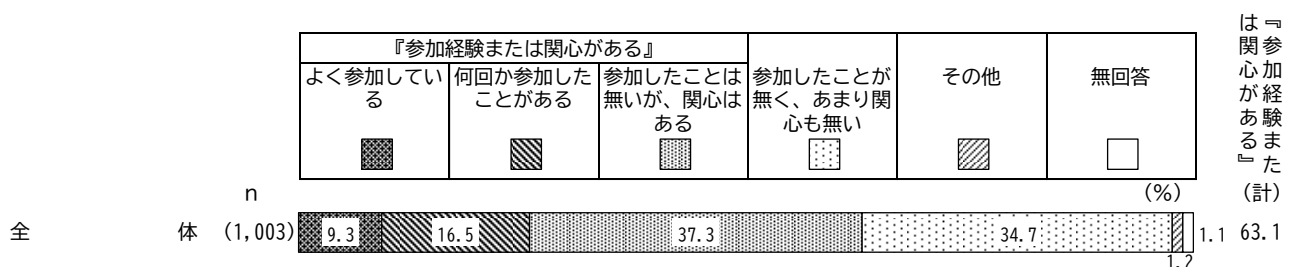


8. 町会・ボランティア

地域の活動（町会やボランティア活動など）への参加状況

「よく参加している」(9.3%)、「何回か参加したことがある」(16.5%)、「参加したことは無いが、関心はある」(37.3%)を合わせた『参加経験または関心がある』(63.1%)は6割台半ば近くとなっている。一方で、「参加したことが無く、あまり関心も無い」(34.7%)が3割台半ば近くと最も高くなっている。

- あなたは地域の活動（町会やボランティア活動など）に参加したことがありますか。(○は1つ)

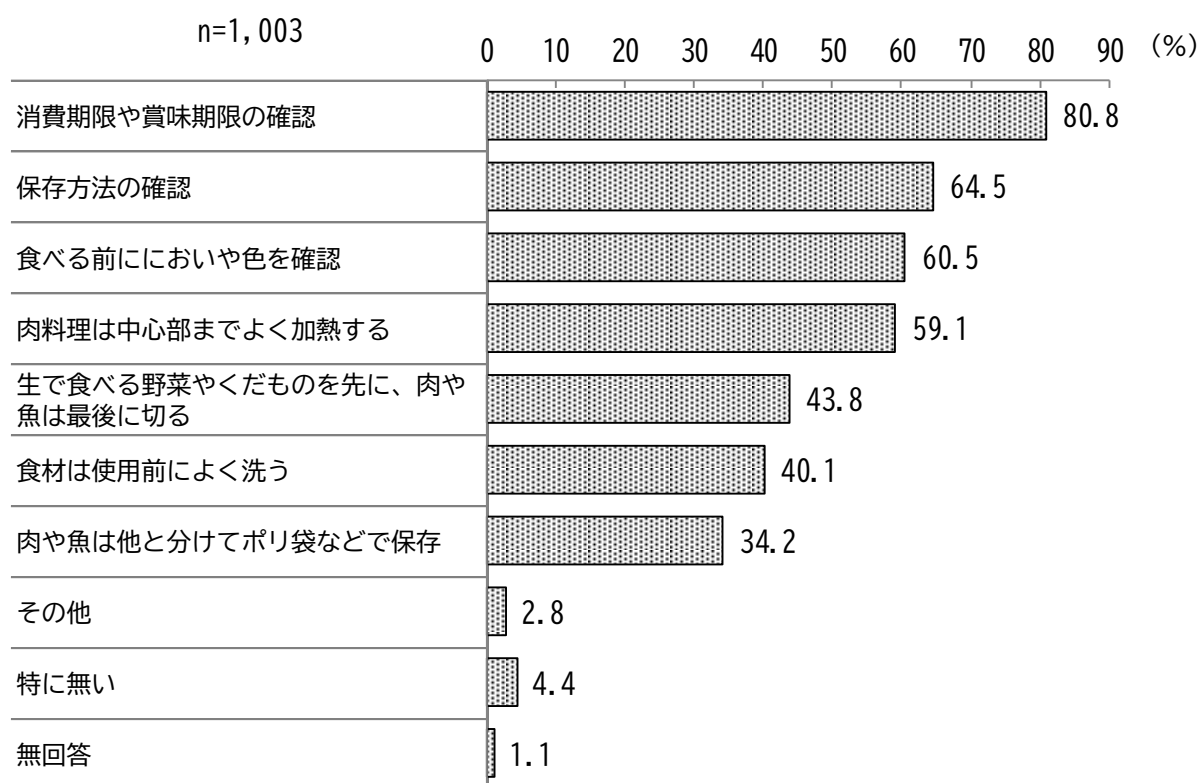


9. 食中毒予防などの食品衛生

家庭での食中毒予防

「消費期限や賞味期限の確認」(80.8%)が約8割と最も高く、次いで「保存方法の確認」(64.5%)が6割台半ば近く、「食べる前ににおいや色を確認」(60.5%)が約6割、「肉料理は中心部までよく加熱する」(59.1%)が6割弱、「生で食べる野菜やくだものを先に、肉や魚は最後に切る」(43.8%)が4割台半ば近く、「食材は使用前によく洗う」(40.1%)が約4割、「肉や魚は他と分けてポリ袋などで保存」(34.2%)が3割台半ば近くと高くなっている。

● 家庭の食中毒予防で取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも)

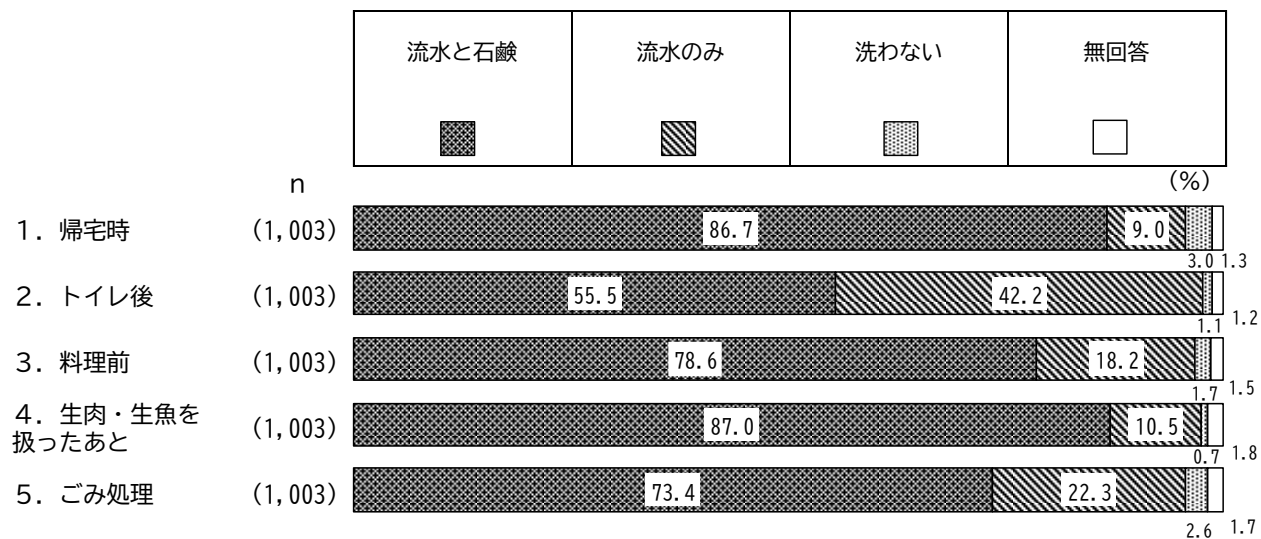


10. 感染症、疾病予防対策

手洗いの方法

「流水と石鹸」と回答しているのは、“生肉・生魚を扱ったあと”（87.0%）と最も高く 8 割台半ばを超えており、次いで“帰宅時”（86.7%）が 8 割台半ばを超えて高くなっている。

● どのようなときにどのような方法で手を洗っていますか。（○はそれぞれに 1 つ）

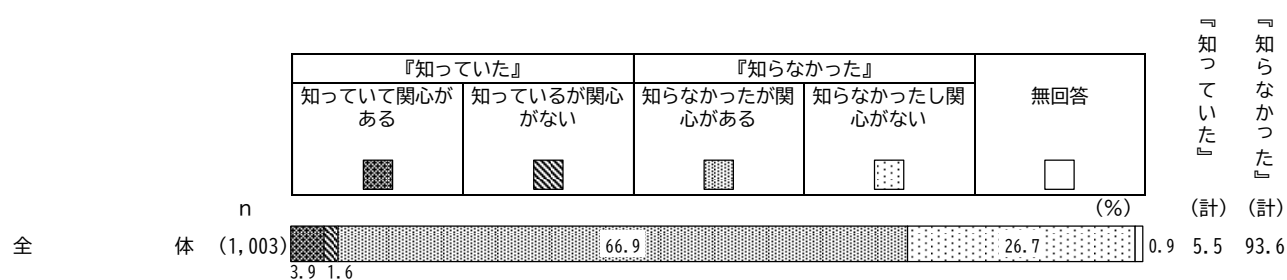


11. 自殺対策

千代田区自殺対策計画の認知度

千代田区自殺対策計画の認知度について聞いたところ、「知らなかったが関心がある」(66.9%)が6割台半ばを超えと最も高く、「知らなかったし関心がない」(26.7%)を合わせた『知らなかった』(93.6%)が9割台半ば近くとなっている。一方で、「知っていて関心がある」(3.9%)、「知っているが関心がない」(1.6%)を合わせた『知っていた』(5.5%)は1割未満となっている。

- 区では、誰も自殺に追い込まれることのない社会を目指すため、平成31年3月に千代田区自殺対策計画を策定しましたが、ご存知ですか。(○は1つ)

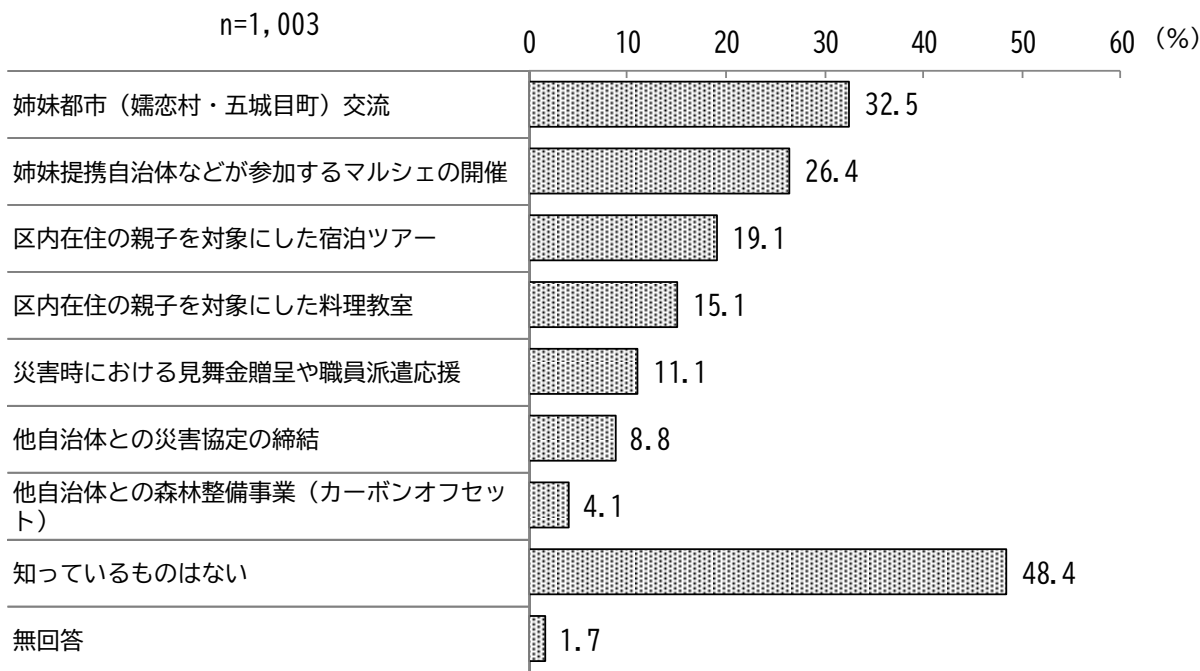


12. 地方との連携支援事業の区民認知度

連携支援事業の認知度

「知っているものはない」(48.4%)が5割近くと最も高く、次いで「姉妹都市（孺恋村・五城目町）交流」(32.5%)が3割強、「姉妹提携自治体などが参加するマルシェの開催」(26.4%)が2割台半ばを超えと高くなっている。

- 区や関係団体が実施する取り組みでご存じのものを全て選んでください。
(○はいくつでも)

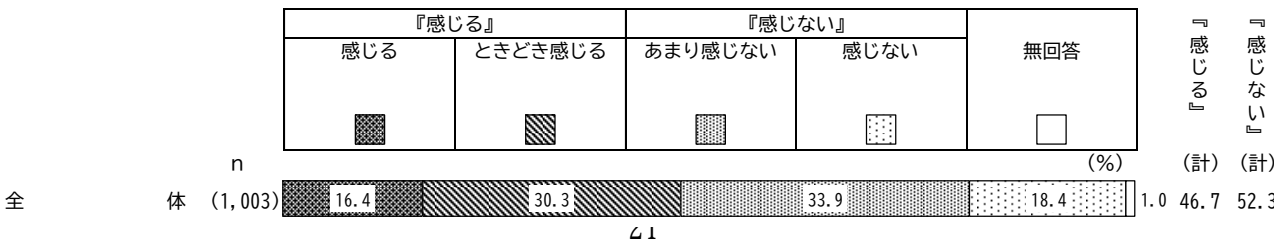


13. 男女平等、人権

性別による不平等を感じることもあるか

「あまり感じない」(33.9%)が3割台半ば近くと最も高く、「感じない」(18.4%)と合わせた『感じない』(52.3%)が5割強となっている。一方で、「感じる」(16.4%)と「ときどき感じる」(30.3%)を合わせた『感じる』(46.7%)が4割台半ばを超えとなっている。

- あなたは、日常生活において、「性別によって不平等がある」と感じることはありますか。(○は1つ)

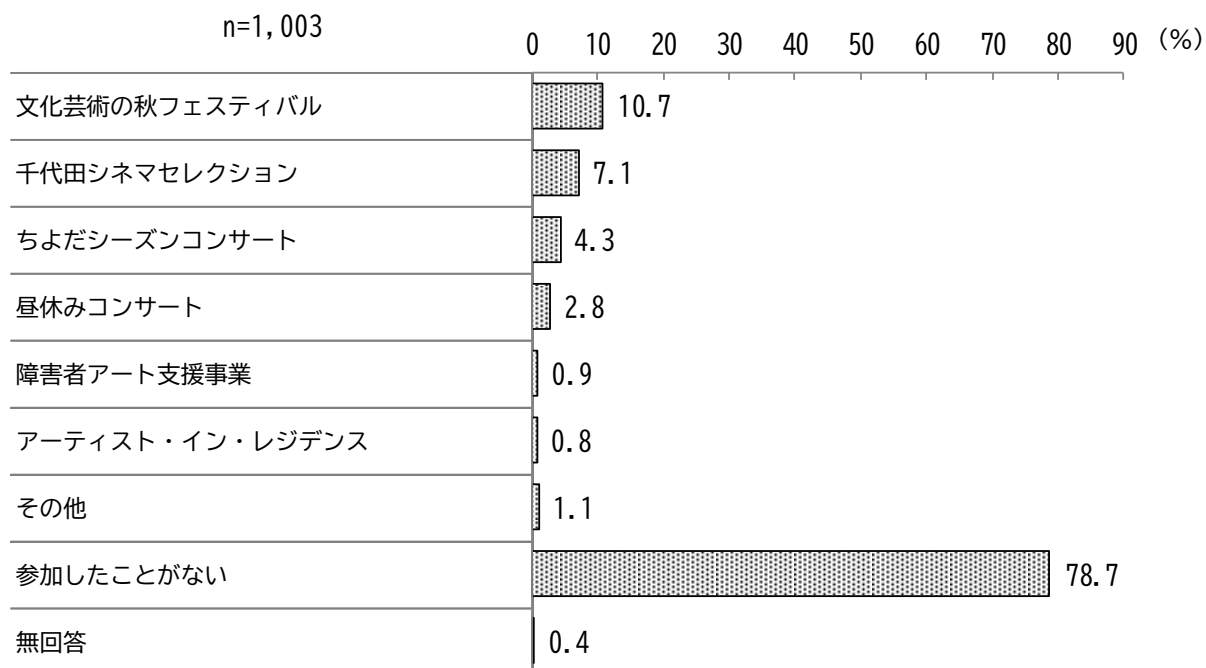


14. 文化芸術

文化芸術イベントへの参加状況

「参加したことがない」(78.7%)が8割近くと最も高くなっている。一方で、参加イベントでは、「文化芸術の秋フェスティバル」(10.7%)が約1割と高くなっている。

- あなたは今までに区の文化芸術にかかるイベントに参加したことがありますか。
(○はいくつでも)



15. スポーツ実施率やスポーツへの興味・関心

運動・スポーツを行う頻度

「30分以上の運動を週2回以上」(35.5%)が3割台半ばと最も高くなっており、「週2回以上(時間は問わない)」(14.4%)、「週1回程度(時間は問わない)」(18.5%)を合わせた『週1回以上』(68.4%)が7割近くとなっている。

- あなたは、この1年間で散歩やウォーキングを含めてどの程度、運動・スポーツを行いましたか。(〇は1つ)

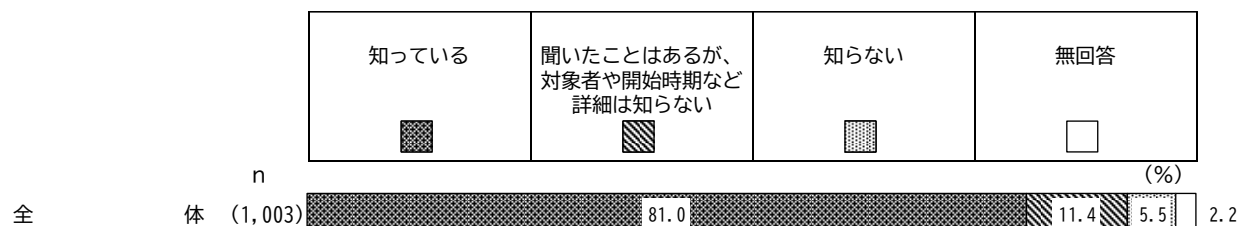


16. 自転車の交通安全

自転車利用者のヘルメット着用の努力義務化についての認知度

「知っている」(81.0%)が8割強と最も高くなっている。

- すべての自転車利用者にヘルメット着用が努力義務化されたことを知っていますか。(〇は1つ)

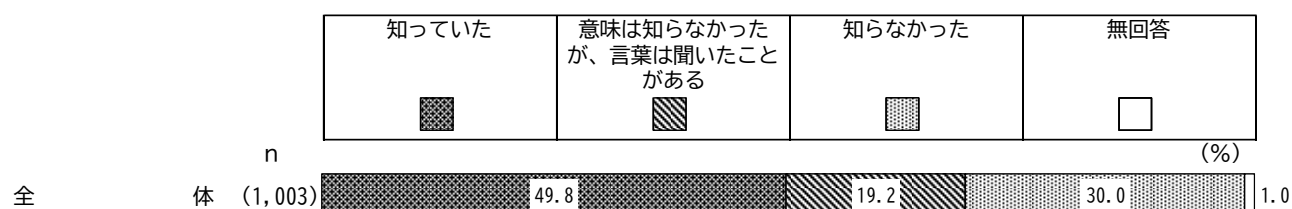


17. 生物多様性

生物多様性という言葉の認知度

「知っていた」(49.8%)が5割弱と最も高く、次いで「知らなかった」(30.0%)が3割と高くなっている。

- あなたは、生物多様性という言葉の意味を知っていましたか。(○は1つ)

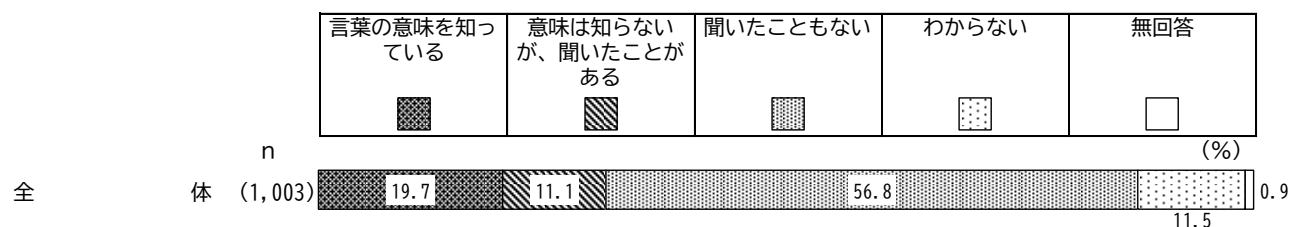


18. 2050 ゼロカーボンちよだに向けた取り組み

「2050 ゼロカーボンちよだ」の認知度

「聞いたこともない」(56.8%)が5割台半ばを超えと最も高くなっている。

- あなたは、「2050 ゼロカーボンちよだ」をご存じですか。(○は1つ)

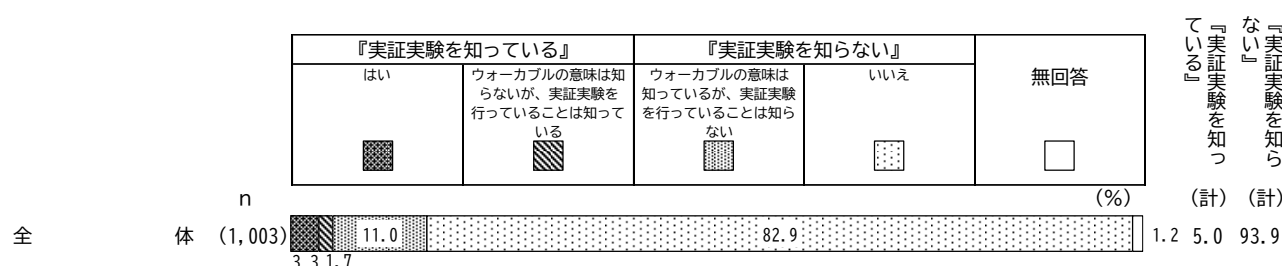


19. ウォーカブルやエリアマネジメント団体の取り組み

ウォーカブルという言葉とウォーカブル事業の実証実験の認知度

「いいえ」(82.9%)が8割強と最も高くなっており、「ウォーカブルの意味は知っているが、実証実験を行っていることは知らない」(11.0%)と合わせた『実証実験を知らない』(93.9%)が9割台半ば近くとなっている。一方で、「はい」(3.3%)と「ウォーカブルの意味は知らないが、実証実験を行っていることは知っている」(1.7%)とを合わせた『実証実験を知っている』(5.0%)が1割未満となっている。

- 令和4年度からウォーカブル事業の推進として実証実験等を行っていますが、ウォーカブルという言葉や実証実験の実施について知っていますか。(〇は1つ)

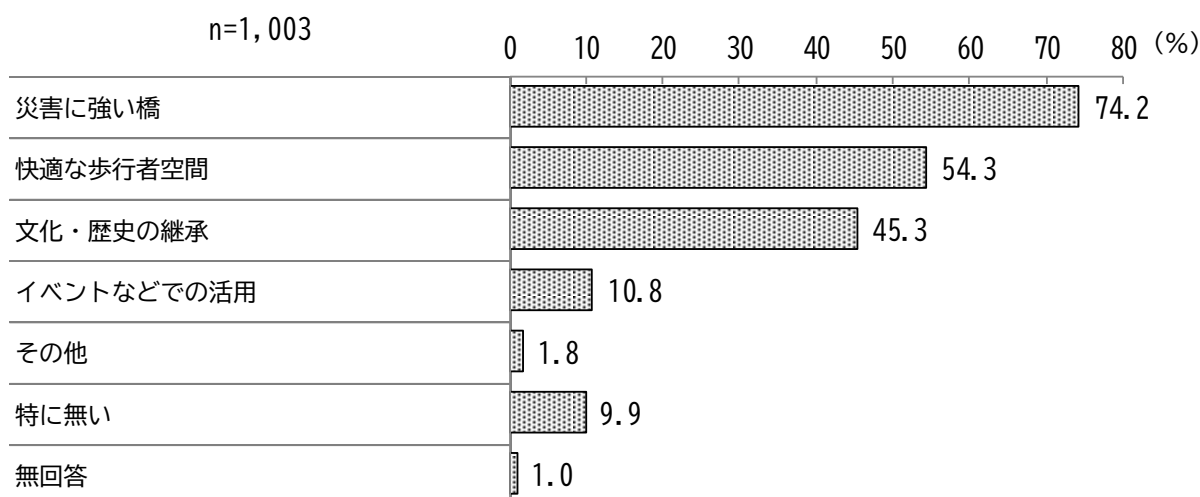


20. 川に架かる橋およびその周辺の有効活用

橋への期待

「災害に強い橋」(74.2%)が7割台半ば近くと最も高く、次いで「快適な歩行者空間」(54.3%)が5割台半ば近く、「文化・歴史の継承」(45.3%)が4割台半ばと高くなっている。

- 川沿いの橋について横断する目的以外に期待することなどはありますか。(〇はいくつでも)

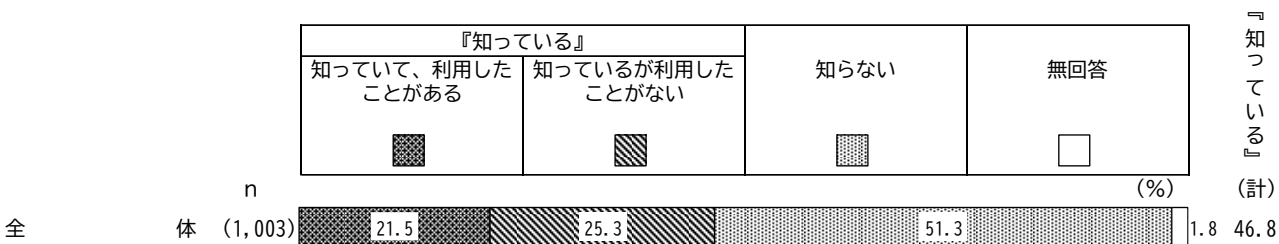


21. ポータルサイトの利用状況

千代田区ポータルサイトの認知度

「知らない」(51.3%)が5割強と最も高くなっている。一方で、「知っているが利用したことがない」(25.3%)と「知っていて、利用したことがある」(21.5%)とを合わせた『知っている』(46.8%)が4割台半ばを超えとなっている。

● 千代田区ポータルサイトを知っていますか。(○は1つ)

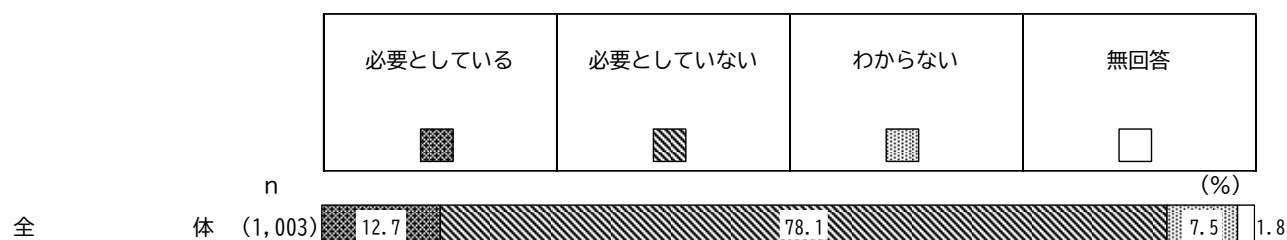


22. デジタル機器の活用状況

デジタル機器の利活用への支援の必要性

「必要としていない」(78.1%)が8割近くと最も高くなっている。

- スマホ等のデジタル機器の利活用に不安を覚え、支援を必要としていますか。
(○は1つ)

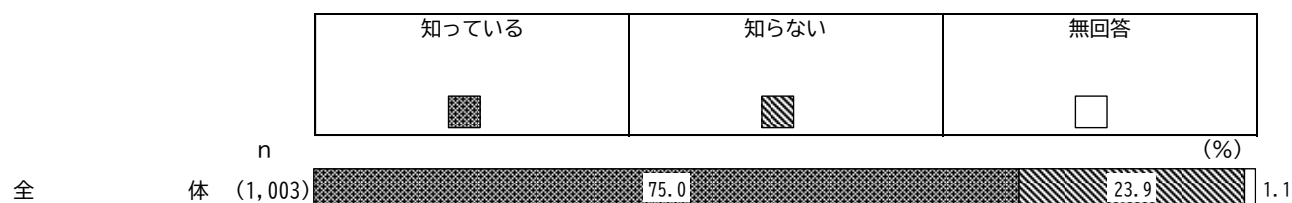


23. 区民の防災対策

地域の避難所の認知度

「知っている」(75.0%)が7割台半ばと高くなっている。一方で、「知らない」(23.9%)が2割台半ば近くとなっている。

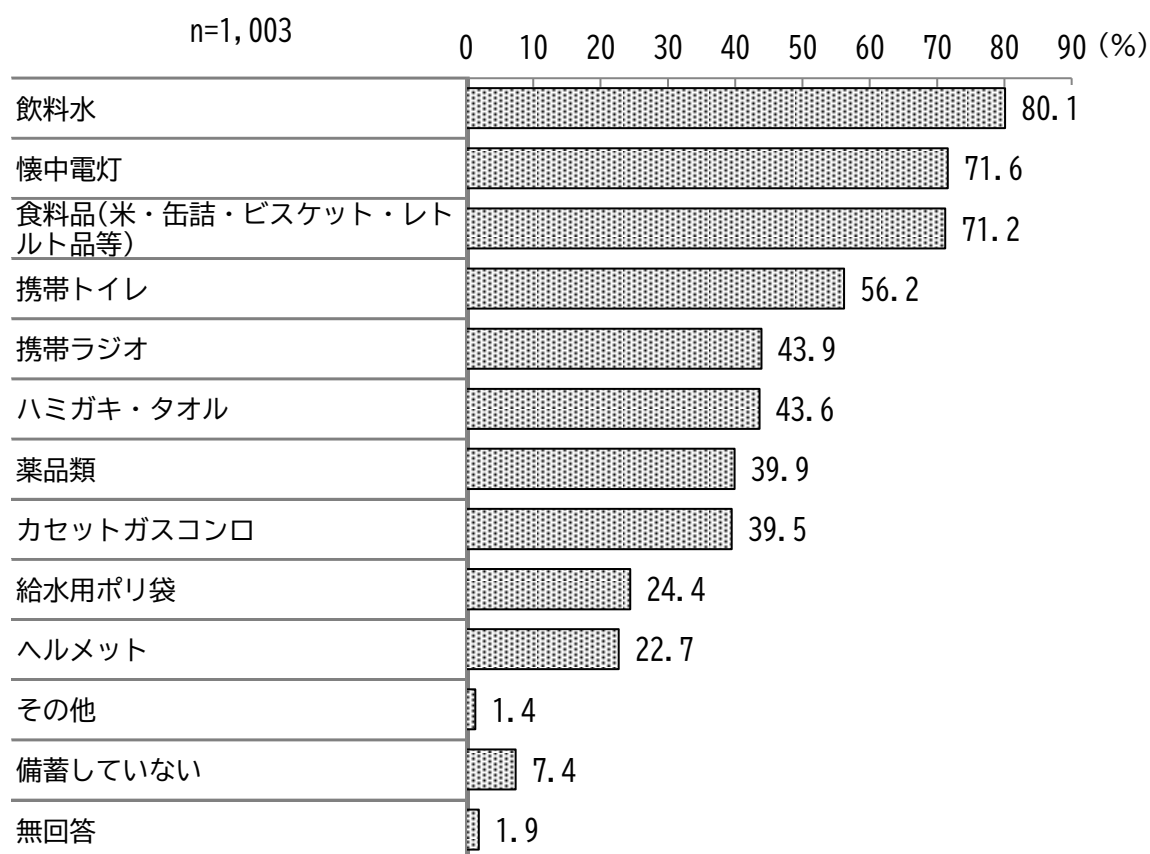
- 地域の避難所がどこにあるのかを知っていますか (○は1つ)



災害に備えた備蓄状況

「飲料水」(80.1%)が約8割と最も高く、次いで「懐中電灯」(71.6%)が7割強、「食料品(米・缶詰・ビスケット・レトルト品等)」(71.2%)が7割強、「携帯トイレ」(56.2%)が5割台半ば超え、「携帯ラジオ」(43.9%)が4割台半ば近く、「ハミガキ・タオル」(43.6%)が4割台半ば近く、「薬品類」(39.9%)が4割弱、「カセットガスコンロ」(39.5%)が4割弱、「給水用ポリ袋」(24.4%)が2割台半ば近く、「ヘルメット」(22.7%)が2割強と高くなっている。

- あなたのお宅では、地震等の災害に備えてどのようなものを備蓄していますか
(○はいくつでも)



第51回千代田区民世論調査（概要版）

□発行日／令和7年2月

□発 行／千代田区政策経営部広報広聴課

〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1

電話 03-5211-4173

□実 施／株式会社渋谷リサーチ

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-22-10

電話 03-5784-4740